

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	鬼の館	■担当係	鬼の館
■評価事業名称	鬼の館運営協議会		
■事業開始年度	平成6年度		
■評価事業コード	418300 - 021	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	博物館法		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	事業運営に関する指導及び助言を得ることで、館の機能が充実し市民の利用が促進される。定例会議を開き、意見等を反映させる。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	鬼の館運営協議会	市民	●委嘱委員数 5人 ●会議回数 2回	●委嘱委員数 5人 ●会議回数 2回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のためうち1回は書類送付により開催。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	56	52	41	28	
人件費	751	382	692	838	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	807	434	733	866	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	協議会開催回数	2回	2回	2回	2回	年間の協議会開催回数。

事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

館の運営方針や年間事業へ貴重な御意見等をいただき、館運営に反映している。

問題点・課題等

協議会委員は博物館での運営経験が無く、博物館事業に係る知識が不足している。そのため、他館と比較した客観的な視点が持てずにいる。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

近隣市町村の博物館事業を紹介し、他館との比較を図る。他館と比較することにより客観的に事業の見直しをする。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了